

国際交流員マシアスのコラム デイーツヘルツ谷

皆さんの中には、ドイツに対してロマンチックなイメージを持っている方もいるかもしれません。実際ドイツには、昔話の舞台として出てきそうな古い町並みや城、それらをつなげたロマンチック街道など、美しい名所がたくさんあります。また、ドイツを縦断するライン川は、世界遺産になるほどの雄大な景色と、川沿いに美しいレストランが多くあることで有名です。

ライン川水系は、ヨーロッパ最大の河川システムですが、それに合流する小さい河川の一つにデイーツヘルツ川という、ドイツ中部の高地を流れる川があります。この川一帯には鉄鉱石が豊富にあり、紀元前300年頃（日本の弥生時代）にはそれを採掘するため人々が集まり、村が形成されてきたと言われています。それが、下野市の姉妹都市であるデイーツヘルツタールの始まりです。

そして、採掘した鉄を打つハンマーのような機械の動力源として水を利用しようと川をせき止めたため、いわゆる「ハンマー池（ドイツ語でハツマヴァイアー）」ができました。この池は今でもデイーツヘルツタールに残っており、市民の憩いの場所として親しまれています。



デイーツヘルツタールの風景



また、中世初期にはドイツで2つの重要な都市、ケルンとライプチヒが貿易ルートによって結ばれていましたが、それはデイーツヘルツ川が流れる谷を通っていました。正確な記録はありませんが、この貿易ルートの重要性を考えると、多くの人の往来を支える頑丈な石橋が川を渡るために造られたと考えられます。そのようなことから石橋（ドイツ語でシュタインブリュッケン）という名前の村がそこにできました。このシュタインブリュッケンが下野市合併前の石橋町と姉妹都市を締結した村で、今は下野市と同様に合併してデイーツヘルツタールという名前の町になっているのです。

石橋町とシュタインブリュッケンという同じ意味の名前を持つ町同士の交流は、さらに同じ名前である獨協医科大学名誉学長である故石橋長英氏の橋渡しによって始まりました。昭和50年に姉妹都市関係を正式に結んだ後は、3年に一度行われる中学生の相互派遣や、小学生の図画作品交換などを通して活発な交流が図られ、お互い合併して名前が変わった後もその関係が続いています。そして平成27年に姉妹都市締結40周年を迎え、市長を団長とする訪問団が相互に派遣され、長きに渡り築かれた友好の絆とこれからも交流を次代へと引き継いでいく決意を確認しました。

ところで、下野市に住んでいると、外国人の私でも、下野市がいかにドイツと深い関わりがあるかがわかります。石橋駅のブレイメンの音楽隊の塔、グリムの館、きらら館、グリム保育園、市立図書館、など、市内の至るところでドイツとの交流の足跡が見えます。また、このような目に見えるものだけではなく、市民の皆さまの心の中にもドイツとの本当の友情があることがわかります。姉妹都市間で送られる手紙を翻訳したり、訪問団

歓迎パーティーの挨拶で通訳していると、特にそれを感じることもできます。

国際交流員としてこのすばらしい交流のお役に立てることを大変嬉しく思っています。

国際交流員イベント
第18回「マシアスの町遊び」
国際・ソング・コンテスト

今回のイベントでは、ソング・コンテストを開催したいと思います。ソング・コンテストと言っても、参加者の皆さんが歌うわけではありません。皆さんには大会の審査員になっていただき、ユーロビジョン・ソングコンテストという実際のヨーロッパのコンテスト映像を観て、どの歌手が良かったか判定してもらいます。

市ではどの国が優勝するのでしょうか？色んな国の音楽を体験できる良い機会ですので、皆さんぜひ参加してみてください。

■日時 6月18日(土)
 午後2時～6時頃

■場所 石橋公民館2階会議室

■定員 100名

■料金 無料

■持ち物 筆記用具

※申し込みは不要です。当日会場にお越しください。

■問い合わせ先
 下野市国際交流協会事務局
 (市民協働推進課内)
 ☎(32)88887

携帯電話
 市ホームページ

■人口と世帯 (5月1日現在)
 人口/59,961人(+91)、男性/29,790(+18)、女性/30,171(+73)、世帯数/23,061(+163)

PC・スマホ
 市ホームページ



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(32)8886 情報広報グループまでご連絡ください。